

海外自治体幹部交流協力セミナー2016(シンガポール事務所) 地方交流事業概要

【地方交流事業】

1月24日(火) 【移動(東京→宮崎県)/知事表敬】

(1)河野知事表敬訪問

河野知事は、宮崎県における「スポーツランドみやざき」の取組について紹介され、「宮崎のスポーツを通じた地域づくりを見ていただきたい」と歓迎の意を表明された。また、「東南アジアの国々やインドは宮崎県にとっても重要なパートナーであり、今後も交流を深めていきたい」と述べられた。



宮崎県知事表敬訪問の様子

1月25日(水) 【行政説明/視察】

(1)行政説明「県勢概要説明」(オールみやざき営業課)

宮崎県の概要(気候、地理、観光資源)の詳細な紹介があった。県がスポーツツーリズムに取り組む背景となる、その特性や地域資源に対する理解が深まった。



行政説明の様子

(2)行政説明「スポーツランドみやざき」(観光推進課)

温暖な気候と充実した施設という県の特性を活かした「スポーツランドみやざき」の取組の概要について説明があった。説明の中では、施策の推進体制や取組内容のほか、具体的な招致実績、経済効果についても言及があった。

(3)KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公園視察

県総合運動公園内のサンマリスタジアム、ツワブキ武道館、ハイビスカス陸上競技場、木の花ドーム等を視察した。参加者からは、利用状況や整備の頻度等について質問があり、充実した設備や整備状況、多くの県民に利用されていることに感銘を受けたとの感想が寄せられた。



県総合運動公園視察の様子

(4) 鵜戸神宮・青島神社視察

日南市にある鵜戸神宮を視察。参加者は、絶景を楽しむとともに、神話の時代までさかのぼる神社の由来に深く感銘を受けていた。また、「運玉投げ」を体験した。

青島神社では、亜熱帯植物が群生する様子に驚きの声が上がった。また、「鬼の洗濯岩」など、景観の美しさも参加者の印象に残ったようであった。



鵜戸神宮視察の様子

(5) 県立青島亜熱帯植物園視察

シンガポール植物園と姉妹提携を締結している県立青島亜熱帯植物園を視察した。国内でも珍しい亜熱帯の植生を持つ青島の対岸に位置し、研究や教育施設としての役割、県民の憩いの場としての役割を果たしていることについて説明があった。参加者からは、入場客数等について質問があった。自らの国の花を見つける参加者もあり、宮崎と自国とのつながりを見つけたと喜ばれた。

1月26日(木)【視察/意見交換会】

(1) 綾町視察

綾町では照葉大吊橋及びクラフトの城を訪問した。照葉大吊橋では、吊橋の上から日本で有数の照葉樹林を眺め、参加者は海も山も楽しめる宮崎の魅力を実感していた。クラフトの城では織物を体験した。東南アジアには織物が盛んな国があり、織物を体験型観光に活用するのも良いアイデアであるという声があった。



綾町にて記念撮影

(2) フェニックス・シーガイア・リゾート視察

宮崎県と協働してスポーツツーリズムの推進に取り組む民間企業を視察した。施設の概要及びどのようにアスリートやスポーツを楽しむ観光客を支援しているかについて説明があった。参加者からは、実際にトレーニングのため滞在している利用者の姿もあり、スポーツツーリズムとはどのような観光スタイルなのか、具体的にイメージすることができたとの感想が寄せられた。



フェニックス・シーガイア・リゾート視察の様子

(3)意見交換会

宮崎県の取組姿勢に関する意見が多く見られた。強い意志をもって施策を推進しており、民間との協働が良好に進んでいる点、維持管理に投資している点について、成功の要因であり参考にしたいたいの声が寄せられた。また、内務省職員というバックグラウンドから、今回のセミナーを国と地方の役割分担の参考にし、地方を支援していきたいという意見も多かった。県担当者からは、「スポーツ施設は経済的利益を得

るために建設したものではないが、自然環境と併せた地域資源の一つとして、県民の理解を得ながら観光に活用している」という施策のコンセプトが説明され、参加者からは「自らの国にはない考え方で大変参考になる」という感想が寄せられた。

参加者側からは、インターネットの情報発信を充実させるべき、観光施設で多言語対応をするべきなど、さらなる魅力向上に向けた積極的な提案もなされ、受入自治体及び参加者双方に有益な意見交換となった。



意見交換会の様子